

## 5 号機廃棄物処理建屋における水漏れに関する調査結果について

定格熱出力一定運転中の 5 号機において、燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器\*<sup>1</sup>（B）（以下、「ろ過脱塩器」）点検後の復旧作業を実施していたところ、平成 19 年 2 月 16 日、廃棄物処理建屋 1 階にある当該系統のプリコートタンク\*<sup>2</sup>（以下、「当該タンク」）の上蓋部から水漏れが発生し、ただちに停止したことを当直員が確認いたしました。

なお、漏えいした水は堰内にとどまっており、漏えい量は約 35 リットル、放射エネルギーは約  $5.3 \times 10^4$  ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施いたしました。これによる外部への放射能の影響はありません。

（[平成 19 年 2 月 19 日お知らせ済み](#)）

調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・ 点検後の 2 月 13 日にろ過脱塩器内の圧力を抜いていたが、その後、ろ過脱塩器に圧縮空気を供給する配管に設置された弁の開閉試験を行っていたこと。
- ・ ろ過脱塩器の復旧作業に際して、現場に設置されたろ過脱塩器の制御盤のプログラムを初期状態に戻す必要があったが、事象発生前のろ過脱塩器のプログラムは途中で停止していたこと。
- ・ 使用した操作手順書に、プログラムの後工程を飛ばして初期状態に戻す手順が記載されていなかったことから、プログラムの後工程を順送りして初期状態に戻すこととし、その際、ろ過脱塩器に関わる弁（3 個）が開いたこと。

漏えいの原因は、使用した操作手順書に、プログラムの後工程を飛ばして初期状態に戻す手順が記載されていなかったことから、ろ過脱塩器内のプログラムを後工程を順送りして初期状態に戻すこととしたため、弁の開閉試験の際にろ過脱塩器内に流入していた圧縮空気の影響で、当該タンクにろ過脱塩器の水が流入して溢れたものと推定いたしました。

対策として、ろ過脱塩器の復旧作業においてプログラムの後工程を飛ばして初期状態に戻す手順を操作手順書に反映いたします。

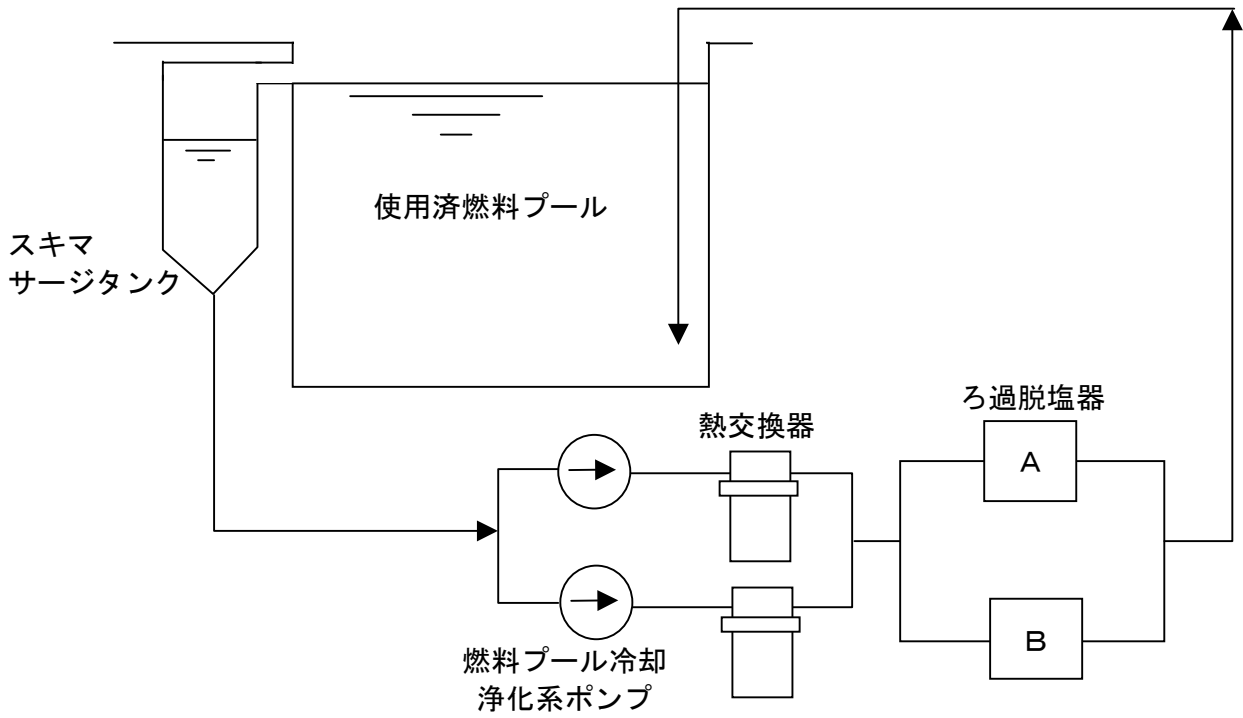
以 上

\* 1 燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器

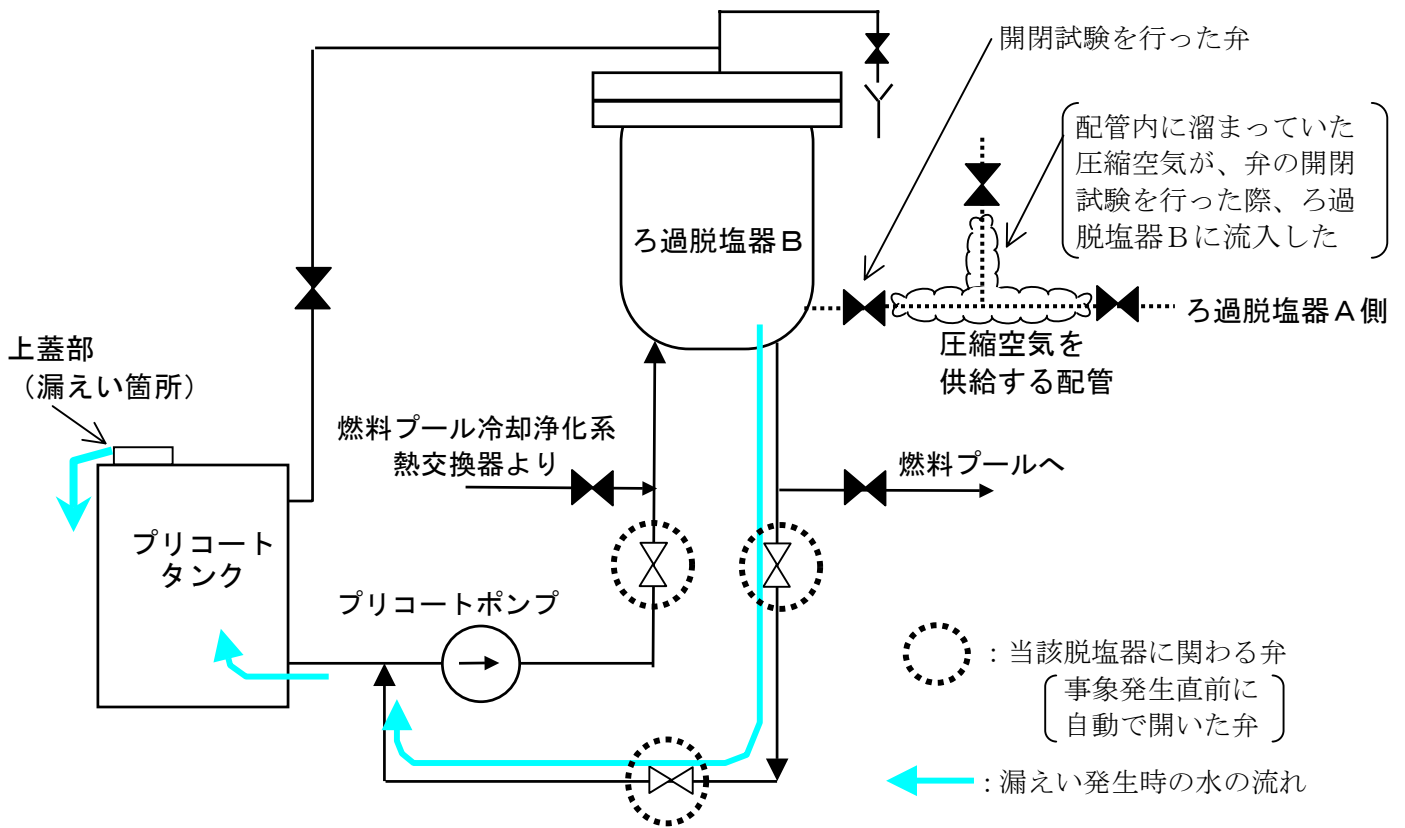
使用済燃料プールの水については循環させることにより冷却と浄化をしており、ろ過脱塩器は水中の不純物を取り除き水質を保つための装置。

\* 2 プリコートタンク

ろ過脱塩器のフィルタに樹脂をコーティングする際に使用するタンク。



燃料プール冷却浄化系 系統概略図



ろ過脱塩器廻り 系統概略図